



ヨゼフ アベイヤ司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行所 人
カトリック福岡司教区
編集人 下町 豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部70円

11月の意向

教皇様の意向のために祈りましょ
【世界共通】人口知能
【日本の教会】教皇訪日一周年にあたって

新しい回勅「FRATELLI TUTTI」、アベイヤ司教に聞く
私たちに問いかけるもの
—健全な未来を創るために—

10月4日、アッシジの聖フランシスコの祝日に教皇フランシスコは、兄弟愛と社会的友愛をテーマにした回勅「FRATELLI TUTTI」（兄弟の皆さん、の意）を発表した。日本語訳が発表されるまでにはまだ時間がかかるだろうが、この回勅が出された意義と回勅のポイントについてヨゼフ・アベイヤ司教に聞いた。



1 まず、「回勅（かいちよく）」とはなんでしょう。そして、今回は社会回勅と言われているようですが、それはどういう意味でしょうか。

「回勅」とは、教皇様が教会のすべての信者に送られる文書です。その中で教皇様

は、教会の教えのある課題を取り上げてより明確に説明したり、また、現代社会においてキリストの弟子として生きるための指針を示されたりします。

今回の回勅「FRATELLI TUTTI」（兄弟の皆さん）が社会回勅と呼ばれるのは、教皇様が現代社会の抱えている基本的な課題を取り上げて、福音の光に照らしてそれらを分析し、人類にとって希望に満ちた未来を築き上げるように呼び掛けているからです。教皇様は、そのために基礎となるものを示しておられます。

2 この時期にこの社会回勅が出される意味・意義はどういったことがありますか。

様々な分裂にさらされている現代世界の影を指摘しながら、光への道を示していることが、この回勅の特徴と言えると思います。

教皇フランシスコの社会に対する考え方のまとめのようなものです。実際に、様々な場で教皇様がなさった講話やスピーチ、また、今まで発表された文書の引用が非常に多いです。教皇様の訪日のときに私たちがいただいた言葉も何度か出ています。

この回勅は特に回勅「ラウダート・シ」と繋がっています。いのちを守り、育むことが中心の課題となっていると言ってもいいと思います。

3 回勅のテキストは長いですが、読むためのヒントをいただけますか。

まず、見えてくるのは、世界を見た時の教皇様の痛みと希望です。イエス様のまなざしで世界の現実を見、その中に生きている人々の苦しみと望みに共感する教皇フランシスコの心が表れています。教皇様は、道端に倒れていた人を心に留め、助けたサマリヤ人のたとえ話を思い起こし、そこから学ぶように呼びかけています。

回勅の中で教皇様が求めている「兄弟愛」（FRATERNITY）と「すべての人々に及ぶ友情」（SOCIAL FRIENDSHIP）は、このたとえ話にその原点があります。

別の言い方をすれば、この回勅は、虐げられた人々の観点から世界を見、彼らを中心に置いて新しい世界の在り方を提案しています。「人類の将来に対する教皇様の夢」を伝えている文書です。強調されているいくつかの点を挙げてみたいと思います。

◆一人ひとりの人間の尊厳 教皇様は、貧しい人々や様々な差別と排除によって苦しんでいる人々の人権を守るように強く呼びかけています。

◆「兄弟愛」や「すべての人々に及ぶ友情」は、単なる個人的な態度としてではなく、政治、経済等に具体的に活かすように強く呼びかけています。

◆だれをも排除することなく、皆の共通善を求める政治への転換を求めています。

時の話題

死者の月にあたって

皆さんは、東方正教会の教会堂に入ったことがありますか。東方教会の建物には、構造そのものが、地上の教会と天上の教会、唯一の民の「交わり」、神の家族の交わりを表しています。

程のように。イコノスタシスの「物語」は旧約の父祖、預言者によって明らかにされていく「神の夢」は、イエス・キリストのうちに実現します。同時に教会は、神の国の完全な実現、すべての神の子らが「神の家族の交わり」の中に入る完成の日に向かって「旅」をしています。地上の民の歩みを、天上の民は、キリストの傍らで「執り成し」をしなが見守り助けます。救いの歴史の決定的な「時」は、「お告げ」の出来事における神の「愛肉」の神秘から始まります。「お告げ」イコンが描かれた「王門」を通じて司祭が聖域に入り、聖体の祭儀が行われ、信徒たちは「王門」の前で、私たちに自分を与え尽くすキリストを聖体のうちにいただきます。

きまず。聖体は、「神の夢」の実現へと向かう地上の民の旅の糧となります。これを書いている時、障がい者施設の利用者の方が帰天し、身寄りのない彼女の葬儀ミサが、修道会の聖堂で、職員、シスターたちと共に捧げられました。「あなた方に言っておく。彼らのみ使いたちは天にいて、天におられる私の父の顔をいつも仰ぎ見ている」（マタイ18・10）というイエスのみ言葉を思い出しました。天上の民と地上の民の交わりの中に、私の、私たちの「旅」の歩みがあります。いつもしみ深い神の摂理に感謝しながら。Sr.岡 立子

教皇来日から1年
【3面に特集】

2019年11月のフランシスコ教皇来日から1年が経つ。福岡教区では40日間の教皇来日記念企画展も行い、日本社会の中で福音を味わい、深め、証する時を過ごした。あれから一年、2020年はコロナウイルスで教会のあり方も一変したが、私たちは教皇が語りかけたものにどのような形で応えて生きているのだろうか。共に振り返りたい。



2019年11月24日 長崎県営野球場で

みちくさ
コロナ禍の中、気分転換を計り、車で遠出した。不要不急であったので、できるだけ人に会うことも予定しないものであった。生まれ故郷の自然はそのままで、広くてきれいな海、道路脇にそびえる大きな山。「お帰りなさい」と父母の魂が声かけているようだった。墓参りを済ませ、さっそく、世のすべてを脱ぎ捨てて、魚と一緒に藍の海を泳ぐ。運動不足で堅くなっていた体も自然がやさしくほぐれていく。久しぶりのしよっぱい海水も腐敗した気持ちを新しくしてくれるそんな気分だった。澄み切った海の中で大小の魚や海藻を発見。飽きることなく探検は続く。夕食は新鮮な海の幸。父母と漁に行った時のことが思い出された。少しだけのご褒美の時間、大切な時間になった。「一人の子は枕する所もない」（マタイ8章20節）と言われたイエスも、たびたび山に登り、静かな場所でお父さんと話された。また、親しい友の所に行き、いろいろと語られた。弟子達や多くの人と湖や山で話された。その時の自然や人々はイエスのみ心を柔らくし、多くの恵みを引き出すことに一役買ったということも言えよう。

▼神から与えられた人や自然は私たち一人ひとりの生き方に大きな影響を与えている。人間も人や自然に多大な影響を与えている。それを知りつつ、壊していく輩もいる。汚された海では顔を出せない『人魚姫』や森林伐採で竹の中では育たない『かくや姫』などの変わった話が出てくるかも知れない。すべてを大切になさる神のみ心を人が知り、共存共栄できる生き方を大切にできますように。（S）

聖書週間 2020年11月15日～22日

「聖書と典礼」を最大限に活用しましょう

レナト・フィリッピニ神父 (聖ザベリオ宣教会 / 教区養成教化委員会責任者)

毎日曜日の「聖書と典礼」(オリエンズ宗教研究所発行)は、みことばを味わう上で非常に役立つものです。ミサの中で特別な奉仕(役割)がなくても、さらに活用するために、一人ひとりができることをお勧めしたいと思います。

まず、ミサが始まる前に、朗読奉仕をするしないに関係なく「聖書と典礼」を開いて三つの朗読を読んでおきましょう。読み終わった後、次のようにしてみるとよいでしょう。

- ①繰り返されていることばに丸印をつける
- ②みことばの中心となる動詞を矢印でつなげる
- ③心に響いた表現や人物の行動に丸をつける

この作業によって、自分がその場に参加しているような感覚を得ることができますし、朗読箇所はますます生きたページになるのです。

ミサが始まった後、パンフレットに目を向けずに朗読されるみことばに耳を傾けましょう。みことばは、本来聴くものです。

説教の時はパンフレットを手にとって、話の中で言及されている箇所をもう一度黙読しましょう。そして、説教の中から心に響いた一言やみことばを理解するために与えられたヒントを書き留めると良いでしょう。

聖体拝領の時、ご聖体をいただいてしばらく祈った後、福音箇所やメモしたことをもう一度読みましょう。当日のみことばがますます心に浸透していき、新しい一週間に導きを与え、生活の中で「みことば」が共に歩んでくれるでしょう。このような能動的な関わりによって、「聖書と典礼」は大切な役割を果たしてくれるのです。

今月29日に新しい典礼暦を迎えるにあたって、当たり前になっている「聖書と典礼」について考える良い機会なのではないでしょうか。主日ごとにこのような準備をすることで得られる実りは、みことばを身につけること、みことばに親しむことなのです。

11月15日から22日までの「聖書週間」が単なる年間行事ではなく、常にみことばに親しむ「聖書習慣」になってほしいものです。



佐賀教会での司教司式ミサ

頃、働きへの感謝と励ましの言葉を述べた。講演の後には花束贈呈があり、盛大な拍手が湧き起こった。(報告)佐賀教会 秋吉淳二

9月27日(日)、アベイヤ司教がはじめて佐賀カトリック教会と特別養護老人ホーム「ロザリオの園」を公式訪問した。

当日、佐賀教会では新型コロナウイルス感染拡大を避けるため聖堂と信徒会館とで人数制限を行い、会館の方にパブリックビューイングを設けて司教ミサを挙行了した。ミサの後には聖堂内で懇親会も開

佐賀教会

かれ、アベイヤ司教からは2027年の福岡教区誕生100周年に向けて、信徒一人ひとりに宿題を考えているなどの話があった。

その後、信徒との自由な質疑応答も行われ、「好きな食べ物は何か?」との質問にも、司教は気さくに応えた。「ロザリオの園」ではシスターや職員向けに30分の講話を行った。見て、聞いて、触れて、行動するイエスの態度を説明した後、シスターと職員に日

アベイヤ司教 教区内司牧訪問

今年5月17日に福岡教区長として着座したヨゼフ・アベイヤ司教。熊本地区からスタートした教会の司牧訪問は佐賀地区へと続いている。アベイヤ司教は1年をかけて、教区内の55小教区を訪問する予定だ。

馬渡島教会



馬渡島教会で信者と記念撮影

10月3日(土)～4日(日)、アベイヤ司教は離島の馬渡島教会を訪問した。教会で信徒たちの出迎えを受けた後、まずは児童養護施設「聖母園」(社会福祉法人)聖母の騎士会運営を訪ねた。アベイヤ司教は職員と児童たちにやさしい言葉で話しかけ、子どもたちも自己紹介をした。関係者は包容力のある温かさ、気さくな人柄に親しみを感ずりました」と語る。

馬渡島教会では、土曜日の夕方のミサ、日曜日の朝のミサ、ミサの後の信徒との交流、役員たちとの話と何度かの交流の機会が設けられた。いずれも信徒たちは「良かった、良かった」と感動の連続だった。

アベイヤ司教は「小さな教会で、高齢者が多く何もできないと思われるが、私たちの宣教は感謝、情熱、希望があればそれでいい。神さまへの感謝の心で、今、この場で輝いて生きることが宣教なのです。希望の中で輝いて生きること、どんなに年齢を重ねてもできることです。小さな教会でも少ない共同体でも全世界と結ばれてつながっているから、私たちは大きな共同体なのです」と信徒たちに語りかけた。

帰路に着くアベイヤ司教を大勢の信徒たちが港まで見送った。ユーモアも絶えず、最後まで信徒たちを笑わせていた。信徒は「司教様との素晴らしい時間を島みんなは大切に心に留め、神さまの子どもとしての生き方を確信し、楽しく生きる希望をいただきました」と振り返る。

鹿島教会



鹿島教会で信者と記念撮影

10月11日(日)、ロザリオの元后・鹿島教会をアベイヤ司教は訪問した。司教は訪問前に50周年記念誌で鹿島教会のことを下調べしたとのことと、400年前にドミニコ会の教会があったが禁教令で教会が壊されたことや、1957年にミラノ外国宣教会によって再建された歴史について触れ、引き継がれる宣教の思いを励ました。

11時からのミサには18人の信者が集った。王子の婚宴について書かれている福音朗読(マタイ22章1～14節)について説教を行った。「不完全でありながら招かれたことを感謝し、それに相応しい者として生活すること、自分に与えられた信仰の喜びのうちに

出向いていくこと。それが宣教です。アベイヤ司教の説得力のある説教に信徒は熱心に聴き入った。

ミサ後は幼稚園舎に移り歓迎会が行われた。司教の招きにより、一人ひとりの信者が自己紹介をした。参加した信者は「司教様は笑顔で傾聴され、その優しさに心を打ち明けられることができました。話が弾み、時間いっぱい信仰の喜びを分かち合うことができました」と感想を述べる。

アベイヤ司教はマネルバ神父の案内で、400年前の教会跡地を訪ね、鹿島教会の司牧訪問を終えた。(報告)鹿島教会 森田由佑子

八代百合学園の学生 被災地ボランティア 心が動き、行動へとつながる

7月3日に被災した九州豪雨の被災地で、熊本県八代市にある八代百合学園高等学校の学生が継続的にボランティア活動を続けてきた。「友人の中に被災した家庭があったり、日常的に親しんでいる球磨川が氾濫したことなど、学生たちは今回の災害を身近なこととして感じ、動かずにはいられないようでした。生徒の行動する力、しなやかな心を改めて実感しました」と宮嶋久美子校長は語る。



避難所で支援物資を仕分けする生徒たち

被災後、「役に立てることはないか」と生徒らが申し出、学園の教職員が生徒たちでできるボランティアを考え、そこで避難所となった八代市内の体育館で清掃や物資の仕分けなどに従事することになった。夏休み期間中の8月8日、23日は、生徒がグループに分かれ、毎日活動を行い、延べ145人が参加した。その後、2学期が始まって毎週末に有志が活動を続けた。10月末に避難所が閉所することとで一旦、避難所でのボランティア活動は終了する。

生徒は次のように感想を述べた。

福岡雙葉学園の小学生がアベイヤ司教を訪問



司教館で小学生の質問を受けるアベイヤ司教

雨の募金をアベイヤ司教に届けた後、事前に準備をしていた質問で、司教へのインタビューを行なった。「司教様は毎日どのようなことを思っているのでしょうか」「いじめをなくすためにはどうすれば良いですか」「何を祈りしていますか」など、率直な質問が投げかけられた。アベイヤ司教は一つひとつの質問に、やさしい言葉で、また子どもたちに問いを投げかけながら対話をするように応えた。



ザビエル聖堂献堂7周年記念講演会

日時: 11月14日(土) 10:30～12:00

場所: 福岡黙想の家 ザビエル聖堂

講師: 稲垣良典氏

テーマ: フランシスコ・ザビエルの哲学思想

※12時から献堂記念ミサ(司式: 稲葉善章新司祭)



カトリック御受難修道会・福岡黙想の家

811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222(9:30～16:30)

Fax 0940-32-3385 Eメール f-mokuso@fmokusou.com

痛みの相談室 いくま整骨院

受付時間 平日: 9:30～12:00
14:30～20:00
土曜: 9:30～15:00
休診: 日曜・祝祭日

福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F

Tel 092-884-0134

ペトロ 生熊公吉

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 [SOU-EN]

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5

〔特集〕 教皇来日から1年 私たちの心は燃えていたではないか

2019年11月23日、26日の日程でフランス・スコ教皇が日本を訪問してから1年が経つ。2020年は新型コロナウイルスという試練に見舞われたが、1年前に受けたものを、私たちは今、どう生きているのか。バチカン公認のメディア担当者として教皇のタイ・日本の司牧訪問に同行した山元眞神父(小郡・鳥栖教会)に寄稿いただいた。また、4人の信徒に振り返ってもらった。

伝わることの難しさ

山元 眞
教皇フランシスコが来日して一年になる。その後、何が変ったのだろうか。

昨年11月下旬に来日後、新型コロナウイルスの感染がヨーロッパにも及び、教皇もバチカンから出る事ができなくなった。教皇は日本の司牧訪問を最後に、この一年は外国を訪れることができていない。あと少しでも時期がずれていれば、教皇の来日は実現しなかっただろう。それだけに、今回の教皇来日の意義は大きいし、より真剣に受け止める必要はない。

教皇の来日が決まる二、三年前の司祭評議会で、教皇来日の意義について諮問された。教皇が来日されることを望むか、そうでないか。教皇の来日に意義があるのか、そうでないのか。

意見はほぼ半分に分かれていたことを思い出す。賛成意見は、教皇が来日すれば、カトリック教会のことが日本人に知られ、日本の教会が活気付く。当時の日本の社会と同様、教会も閉塞感に悩んでいた。教皇が来れば日本のカトリック教会も元気になるだろう。そのためにもぜひ来日してほしい。その意見の背後には今から40年ほど前に当時の教皇ヨハネ・パウロ二世が来日した時の「盛り上がり」の「思い出」もあったのだろう。しかし、40年前と今とで

教皇からのメッセージはカトリック新聞、福岡教区報、教区のホームページなどで知ることができる。しかし、はたしてそれがどれほど読まれ、伝わっているか。

受け取る側の意識が変わらないかぎり、救いのメッセージはいくらでも伝わらない。10月4日、アシジの聖フランシスコの祝日に、兄弟愛と社会的友愛を主題にした回勅が発表された。そこにはウイルスのパンデミック(世界的感染)下にあつて、教会の枠内ではなく全人類が今とこれからをどのように生き抜いていけばいいのかが示されている。翻訳が待たれるが、この回勅こそ、まずは教区内の全信者に伝わることを望まれる。

信徒の振り返り

2つの質問について振り返ってもらった。①教皇来日時で印象に残っている場面、言葉はありますか。②教皇来日から1年、あなたの生活の中でどのように教皇来日の体験が活きていますか。

◇ ◇ ◇

大名町教会 野尻 映里
パパ様訪日から一年、一番印象に残っているのは関口教会での青年の集いです。

SNSの動画や言葉から察するパパ様は若々しい印象であるため、実際にお会いした時のゆっくりとした歩みや、スピーチの前に息を整えられ、一杯の姿にかえって涙みをおぼえたことを思い出します。全てのスケジュールを終え、バチカンに帰国された折には「祭りの後」の寂しさは禁じ得ませんでした。それから一年、愛されていると知ったからには、証をしたいものです。忙しく生きるのではなく、誰かのために生き、「つねに差し出す準備」をすることは何をすればいいのか考えるようになりました。

「あの方が道々わたしたちに話しかけ、聖書を説き明かされたとき、わたしたちの心は内でも燃えていたではないか」(ルカによる福音書24章)世界的な不安に晒され、変化に順応することが当たり前になつて今、たしかに「燃えた」私達はきつと出来ることがあると信じています。



聖マリア大聖堂(関口教会)での青年の集い
©カトリック中央協議会

行橋教会 小田崎 鉄雄

雨脚は徐々に強くなつていった。会場へ向かうが渋滞し運転手さんの気転で別の道へ、通つて行く途中信号で止まった交差点の歩道に多くの皆さんが雨具を着て旗を振る姿が見え、前を警察車両に先導されて黒い数台の車列が横切った。パパさまを乗せた車だ。私たちの心も自然と高まった。降車すると山のような人はぐれることがないように妻と手をつないで人ごみに流され長崎県営野球場へ向かった。セキユリティーチェックを降り抜け球場へ、スタンド席の奥の方、祭壇からは一番遠い。雨脚が長く稲光もするが時間があるので、昼食のおにぎり弁当を夫婦で食べ、席の間にスタンド席も満席、空は徐々に晴れてきた。多くの司祭団が入場し「教皇フランシスコが司牧訪問に出発なさいます」との案内、オルガンの大きな音と車に乗って場内に現れた教皇の姿は印象的だった。遠くから見ているのだが映像のせい、優しい表情も見えた。ミ

サが始まり、あわれみの賛歌のとき涙がでて歌えなくなつた。「イエスを見よう」と集まった群衆の一人になった感覚だった。教会のトップとして、また国家元首として「すべてのいのちを守るため」とのテーマを掲げ来日し、力強い言葉で世界中に発信された。日本の小さな教会にあつて信仰に生きようとする者への励ましと歩む道が示されている気がした。

◇ ◇ ◇

健康教会 野々目 洋

待ち焦がれた教皇来日ミサは雨中になるだろうと覚悟していましたが、ミサが始まるころには青空が広がる暑いほどの天気。これから教皇にお逢いできる喜びと相まって皆笑顔。体験したことがない高揚感の中、ミサが始まりました。

◇ ◇ ◇

光丘教会 榎本 祥

東京ドームでの教皇ミサで、運よく私の座席は上層階から全体を見渡せる位置で教皇様や人々がどのように動き行動しているのかつぶさに見ることができました。

ミサ後、祭壇裏にて司祭団と司祭団、関係者に教皇様が挨拶をする場面ではかなりの大人数相手で教皇様も疲労の色が濃く肩で息をされて今にも倒れてしまう様子にも見えましたが、ご自分の事は差し置かれて一人ひとりの手を握り目を見て笑顔で全身で語りかけておられていました。あの一瞬だけ隔てのない命がけの様な笑顔は強く印象に残っています。

今年は、コロナ禍もあり社会的にも個人的にも大きな変化を強いられる事が多い年でしたが、同時に「何が起きても変えることができる」を強く意識した一年でした。

その「変えられない事」を選ぶ時に「Protect All life(すべてのいのちを守る)」は大きな道しるべになっていると思います。



長崎のミサで 撮影：野々目洋氏



☆すべてのいのちを守るため
―教皇フランシスコ訪日講話集―



2019年11月23日から26日にかけての教皇フランシスコの日本司牧訪問中に行われた10の公式スピーチに加え、旅行前のビデオメッセージ、帰途の機中での記者会見、サンピエトロ広場での一般謁見における振り返りを収録。巻末には滞日中の教皇を追った、詩人・批評家の若松英輔による特別寄稿を収載。(カラー写真16頁)。新刊ではないが、教皇来日から1年、再度メッセージを味わってみるのに最適の一冊。

カトリック中央協議会発行
価格1100円＋税

☆二人の自分―心の動きをみつめて―
インドロ・リバス 著

二人の自分
―心の動きをみつめて―
インドロ・リバス 著

暗闇の中で模索している心の動きを、具体的にわかりやすく説明し、愛へと導く書。フランシスコ教皇がよく語る「識別」に関する入門として、も相応しい。

女子パウロ会発行
価格825円(税込)

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

総合建築業

- ・一般住宅(新築・改築工事)
- ・鉄骨工事
- ・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**

ヨゼフ 森山 新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール FUKUOKA

キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名 2-7-7 大名町カトリック教会 1F
平日/AM10時30分~PM5時
日曜/AM11時~PM2時(定休日 水曜・祝日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp

年間目標

信じる喜びから
伝える喜びへ

11月15日 広報の日の献金

毎年復活節第6主日の「世界広報の日」に合わせて集められる献金が、今年はコロナの影響で11月15日が献金日となりました。献金は教区の広報活動の為に使用されます。

福岡教区広報室では、『福岡教区報』の発行に加え、2019年に教区ウェブサイトのリニューアルし情報を発信しています。また、公式YouTubeチャンネルを利用した主日の音声説教や動画の配信を行っています。これらの活動が継続的に行われるためには、資材や人材のための経費も必要となります。

福音宣教活動における、広報の必要性をご理解いただき、ご協力いただけましたら幸いです。

※各小教区・団体の情報発信にも教区ウェブサイトをご活用ください。

福岡教区ホームページには随時、新しい情報、教区からのお知らせが掲載されています。

<http://fukuoka.catholic.jp/> ⇒



行事中止のご案内

◆11月8日(日) 福岡和田墓地ミサ・合同納骨式
※小教区司祭による納骨式は受け付けています。各小教区の納骨堂委員にお問合せください。

◆11月8日(日) 不動山殉教祈念祭

◆12月12日(土) 福岡市民クリスマス

神学院祭 2020 YouTube 生配信で開催!

11月3日(火・祝) 9時30分から配信開始

今年の神学院祭は、YouTube 生配信で開催されます。詳しくは「神学院祭 2020 特設サイト」をチェックしてください。 <http://www.singakuinsai2020.com/>

講演会 これからどうする
- 教皇フランシスコの呼びかけ -

定員 150 人、感染症対策をとり実施いたします。

日時: 11月23日(月・祝) 10時～12時

場所: カトリック大名町教会 大聖堂

講師: 山元 眞 神父 (小郡・鳥栖教会主任)

主催: 福岡教区信徒使徒職協議会

※YouTubeでの動画配信を検討中です。配信に関する情報は後日、各小教区にお知らせします。また、教区ホームページのお知らせをご確認ください。

福岡教区広報室アドレス
<http://fukuoka.catholic.jp>
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案内板

会合と催し

12月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 11・12月

◆感染症の状況によっては集いが中止となる場合もありますので、お問合せ下さい。

11月 7日(土) ロザリオの会
14日(土) 北九州クリア
14日(土) ザビエル聖堂献堂7周年記念講演会(2面参照)
20日(金)～23日(月) 日本心身医学協会
30日(月)～12月4日(金) コンベンツアル聖フランシスコ修道会

12月 5日(土) ロザリオの会
5日(土)～6日(日) 聖マリア在俗会

※お電話またはメールでお問合せください。
*宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 FAX 0940・32・3385
Email: f-mokuso@fmokuso.com

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ: 「祈り」最高の神秘体験として
ご聖体の秘跡を戴いてキリストと出会う

日時: 11月12日(木) 10時～15時
内容: 「死に勝たれた救い主の勝利」終末論の宴げ
指導者: S. フランコ神父(聖ザベリオ宣教会)
問合わせ先: 真命山諸宗教対話センター
次回: 12月10日(木) 「私たちの間に生まれるキリスト」
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蜻蛉浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com

11月1日 諸聖人 11月2日 死者の日
11月22日 王であるキリスト

【11月】
1日(日) 諸聖人(年間第31週) 八代殉教祭
2日(月) 死者の日
3日(火) 神学院祭(YouTube配信)
†J.C. ヴィルヌーブ(2012年)
4日(水) 聖カロロ・ポロメオ司教
5日(木) †B. ガラハ(2014年 島崎教会)
顧問会・責任役員会
6日(金) †K. ウーリック(2013年 泰星学園)
8日(日) 年間第32主日 唐津・呼子・松島教会司牧訪問
†M. マッコンネル(2005年 手取教会)
9日(月) ラテラン教会の献堂
14日(土) 小郡・鳥栖教会司牧訪問(～15日)
15日(日) 年間第33主日 貧しい人のための世界祈願日
聖書週間(～22日)
世界広報の日の献金
†アントニオ浦口均(2007年 老司教会)
17日(火) †セバスチアノ川添猛(2017年 帯山教会)
21日(土) 聖マリアの奉獻
22日(日) 王であるキリスト
23日(月) †E. ウィリアム(2016年 古賀教会)
26日(木) †R. マグリン(2008年 聖マリア病院)
27日(金) †M.C. ハイメ(2003年 トラビスチン)
29日(日) 待降節第1主日 新田原教会堅信式
30日(月) 聖アンデレ使徒 福岡教区全司祭研修会
†アンジェロ春山勝美(2007年 高宮教会)

【12月】
3日(木) 日本宣教の保護者聖フランシスコ・ザビエル司祭
6日(日) 待降節第2主日 宣教地召命促進の日(献金)
7日(月) 聖アンブロジオ司教教会博士
8日(火) 無原罪の聖マリア

■ゴチックは司教日程

福岡

集いの案内
について

掲載依頼のあった集いのみ、掲載しております。
感染症の状況によっては開催が中止となる場合があります。

■自死された方々のための追悼ミサ(日時) 11月7日(土) 14時～15時(場所) 大濠カトリック会館(司式) 青木悟神父(主催) 福岡ゆりの会(問合わせ先) 090・8410・8927 叶堂(かなどう) ※身近な人を自死で失われ一人

■師イエス祈り会(日時) 11月13日(金) 10時～11時(場所) 高宮教会・小聖堂(問合わせ先) ☎090・7468・3631 西田

■ザビエル聖堂献堂7周年記念講演会(日時) 11月14日(土) 10時～12時(引き続き、献

重荷を負わされている方、ぜひご参加ください。当日参列困難な場合は意向をお預かりすることできます。なお、今年からこのミサは教区の認証を受けております。※今年ミサのみとなります。当日は検温いたします。マスクを着用してご参集ください。

九州豪雨、台風9・10号被災支援金申請

7月の九州豪雨の被災者及び施設への支援金の申請申し込みを受け付けています。ご遠慮なさらず申請されますよう、互いの声掛けをお願いいたします。カトリック信徒でなくても、身近な人々のうちに被害を受けた人がいれば小教区を通して義援金を申請できるよう、信者の方々は連携をお願いいたします。できるだけ支援が届けられるように対応いたします。

また、台風9・10号についても、支援を必要とされる方がいればご連絡ください。

申請書は九州豪雨支援特設サイトからダウンロードできます。または、小教区にお尋ねください。

特設サイト: <http://fukuoka.catholic.jp/>
「2020年7月九州豪雨災害支援」をクリック

メール: fukuokakyoku.sien@gmail.com

支援室窓口 ☎080・1761・4150 (平日9～17時)

堂記念ミサ(場所) 福岡黙想の家・ザビエル聖堂(講師) 稲垣良典氏(トマス哲学の第一人者)「テーマ」フランシスコ・ザビエルの哲学思想(参加費) 無料(問合わせ先) ☎0940・32・3222 福岡黙想の家※マスクの着用をお願いいたします。体調に不安のある方はご遠慮ください。

■福岡召命を共に祈る会(日時) 11月17日(火) 13時半から(場所) 大名町教会(内容) ロザリオと分かち合い(問合わせ先) ☎092・921・4532 山口

■福岡チエナクルム(司祭のマリア運動)(日時) 11月20日(金) 11時から(場所) 大楠教会(指導) パウロ神父(カプチン・フランシスコ修道会)(問合わせ先) ☎090・7468・3631 西田

■「キリストは生きている」青年オンライン分かち合い(日時) 11月29日(日) 15時～16時40分頃(場所) Noon(インターネット上のテレビ会議)(内容) 「キリストは生きている」第3章(対象) 18歳～30代の青年(問合わせ先) 安藤 naris_stella@me.com

■福岡ホスピスの会 第27回がん哲学外来「ぬくみカフェ」(日時) 11月28日(土) 14時～16時半(場所) サンパウロ福岡宣教センター3階(参加費) 500円 当番者、家族、友人、どなたでも参加可(問合わせ先) ☎090・1162・6395 柴田 ※マスク着用

■美野島司牧センター降りてきてくださる神様とともに働きましょう。◆ホームレスの方に手作りのお昼ごはん毎週火曜日10時◆ホームレス支援炊出し・夜回り第1・3金曜日・調理14時/夜回り20時◆路上からアパートに入り居した方を訪問第3土曜日14時(問合わせ先) ☎092・431・1419 M・コース神父

■ザビエル聖堂再生の協力者追悼ミサ(日時) 12月3日(木)

11時から(場所) 福岡黙想の家・ザビエル聖堂(ミサ司式) 染野治雄神父(御受難修道士)(問合わせ先) ☎090・3882・1251 土田 ※マスクをご持参ください

■福岡ホスピスの会 映画上映会「がんと生きる言葉の処方箋」(日時) 12月5日(土) 6日(日) 14時、16時、18時(上映時間) 90分、各回20人限定(場所) サンパウロ福岡宣教センター3階(チケット) 1000円(申込先) ☎090・1162・6395 柴田 ※マスク着用※5日14時は満席

◆熊本
■講座「イエスの教えてくれた祈り」福音の神髄・天と地をつなげる祈り(日時) 11月15日(日) 14時～15時半(場所) 手取教会(内容) 常に唱えている「主の祈り」をさらに味わい、生きるために(講師) レナト神父(教区養成委員長、聖書部門担当)(問合わせ先) ☎096・352・3030 手取教会

■熊本地区召命を共に祈る会(日時) 11月17日(火) 10時半から(場所) 手取教会(問合わせ先) ☎0969・79・0015 崎津教会・浦川神父

お詫びと訂正
教区報2020年10月号、1面のチエノットウ大司教帰天の写真キャプションで誤りがありました。大司教が熊本地震被災地を訪問したのは2016年5月です。

編集後記
深まる闇に目を背けなくなる私に、主は問いかけ続ける。信望愛を観想する秋。(C)

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は
メモリードホーム

薬院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚

市民葬儀・法事相談センター

六本松店・赤坂店 福岡メモリード(検索)

0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会



聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115

聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306

信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
と一緒に働いてみませんか

URL: <http://www.st-mary-med.or.jp/>

福岡教区セクハラ対応窓口

セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談

セクシュアル・ハラスメント相談窓口

電話 080-2694-4182

受付時間 月～金(祝日を除く)

10:00～12:00 13:00～16:00

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ!

<http://www.paulus.jp>

パウルスショップ

メディアによる福音宣教のために...



サンパウロ福岡宣教センター

10:00～18:00(月～土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930